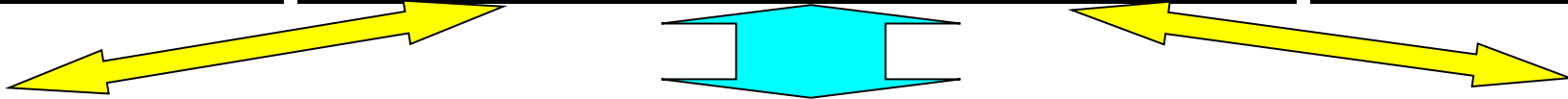


平成30年度 学力向上アクションプラン

B票

わかば西小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国調査の結果から見られる課題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 各教科の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・自分の考えを表現する力 (2) 質問紙調査 <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に学習意欲が低く、家庭学習の習慣も十分身につけているとはいえない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学教授を招聘して、指導と評価と支援の一体化を推進する【(1)講師招聘支援を活用】 ○ 問題解決型・探究型授業の研究【(1)講師招聘支援を活用】 ○ 先進校における取組内容の検証による授業力向上(言語活動の充実)【(5)学力定着支援を活用】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題演習などにおいて複数指導での支援【(3)授業補助支援を活用】 ○ 各学力層に応じた学習支援の実施(補充、発展的な学習)【(4)放課後等学習支援を活用】 ○ 予習(下調べ)、授業、復習(くり返し、発展)の一体的な取組 ○ 家庭学習ノート作成(授業と家庭学習の接続)【(5)学力定着支援を活用】 ○ 読書力の育成(すき間読書、家読) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字・計算の取組(学習タイムの充実) ○ ICT機器を活用した授業 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査 <ul style="list-style-type: none"> (1)学力調査 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均正答率との差(±0%) (2)質問紙調査(当てはまる+まあ当てはまる) <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を30分以上する(70%以上) ○ 保護者アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣(60%以上)



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学前テストの検証を踏まえた小中における授業の改善の研修 ○ 夏季合同研修会の実施(中学校教員による小学校の授業研究及び小学校教員による中学校の授業研究) 	<ul style="list-style-type: none"> (1)講師招聘支援 (2)先進校視察支援 (3)授業補助支援 (4)放課後等学習支援 (5)学力定着支援 (6)地域人材活用支援 (7)その他 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決型・探究型授業(3回) ○ 指導と評価と支援の一体化(1回) ○ 算数を中心に同室複数指導を実施 6h×25週 ○ 放課後学習 2h×週2×22週 ○ 夏季休業期間 2h×4回 ○ 家庭学習ノート作成 ○ 学習支援に係る用紙・インク代 ○ 先進校視察(言語活動の充実) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上アクションプランの明示 ○ 「家読」の実施による読書力の向上 ○ 自主学習ノートの活用による学習習慣の定着 ○ 学力調査結果の公表